令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 321-03-01

事務事業名		戦没者遺族等支援事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)・法定受託事務	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1124	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	地域福祉		款	3	民生費
	施策の方向	1	地域における支え合い・助け合いの仕組みづくり		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市戦没者遺族会・戦没者遺族					
	目的 (どうしたいか)	・遺族会の運営及び活性化を図る。 ・戦没者遺族の福祉の増進を図る。					
	手段 (事業内容)	・戦没者遺族の福祉の増進を図るための活動や戦没者の慰霊追悼式の実施。 ・援護法等に基づく特別弔慰金をはじめとする各種給付金に関する受付給付業務(法定受託業務) ・遺族会への助成事業。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	1,470	1,470	1,425
決算額	事業費	749	701	-
	特定財源等	69	84	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】	
団体助成金	250千円
報償費(奨励金)	400千円
追悼式供花代	20千円
特別弔慰金等関係費	31千円
【特定財源】	
(府)遺家族等援護事務交付金	84千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	戦没者遺族会評議員数	単位	人	
指標の説明	地域で戦没者遺族会の活動を担う評議員数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		40	40	40
実績		39	39	-

≪事業の参考数値等≫

【追悼式参加者数】	
R2:10名	R3: 11名
【第11回特別弔慰金】	
(受付期間 R2.4.1~R5.3.31)	
(R4.9月末現在)	
受付件数	586件
交付件数	506件

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	戦没者追悼式の遺族参加人数	単位	人	
指標の説明	戦争でなくなられた方を慰霊し、平和への祈念を目的として開催される追悼式の参加者			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		15	41	60
実績		10	11	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>従前の改善検討内容であった追悼式の実施方法については、近隣市の追悼式実施状況を調べた結果、本市実施方法の方が経費負担が少額で、遺族参加者数も他市と比較すると大変多いことから、令和元年度からは総合評価を「現状維持」としている。</p> <p>なお、成果指標である「戦没者追悼式遺族参加人数」について、令和2年・令和3年・令和4年度はコロナウイルス感染防止の観点から、参加人数の制限、実施規模の縮小で、コロナウイルス感染前の令和元年度の150人からは大幅に減少しているものである。</p>	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
<p>追悼式については、戦没者を追悼し平和を祈念するとともに、遺族会の目的である遺族会会員相互の親睦を図る行事としての役割も担っている。コロナウイルス感染防止の観点から令和2年度から3年間にわたる一般遺族の参加制限や実施規模の縮小が続くと想定される場合、遺族会会員の高齢化も併せて、実施方法等を遺族会と一緒に再検討する必要があると思われる。</p>

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 322-01-01

事務事業名		民生委員関連事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1122	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	地域福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	地域活動を支える担い手づくり		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市民生委員児童委員協議会					
	目的 (どうしたいか)	運営及び活性化を図る。					
	手段 (事業内容)	羽曳野市民生委員児童委員協議会の運営にかかる事業費を助成している。また、事務局として、定例会の開催、府補助金等の庶務、民生委員・児童委員の推薦に関わる庶務等を担当している。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	2,054	1,994	1,974
決算額	事業費	2,045	1,883	-
	特定財源等	223	396	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】	
推薦会委員報酬	147千円
助成金	1,730千円
【特定財源】	
民生委員協議会費負担金	349千円
民生委員推薦会費負担金	46千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	民生委員・児童委員数	単位	人	
指標の説明	民生委員・児童委員として委嘱された人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		188	188	188
実績		171	171	-

≪事業の参考数値等≫

民生委員・児童委員数	157人
主任児童委員数	14人
合計	171人

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	民生委員相談支援件数	単位	件	
指標の説明	地域とのつながりを大切に、必要があれば行政等専門機関へ繋げ、問題解決を図っている。			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,500	2,500	2,500
実績		1,869	1,775	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
羽曳野市民生委員児童委員協議会は、コロナ禍で活動自粛が続く中、感染対策をしながら見守り活動等を実施している校区があるなど、地域福祉へ貢献されている。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
コロナ禍の状況改善により活動再開へむけて取り組める状況になりつつあるが、民生委員の担い手不足は否めない状態である。民生委員の欠員校区における欠員の解消(担い手確保)に努める。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 322-01-03

事務事業名		ファイン推進基金管理運用事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	地域福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	地域活動を支える担い手づくり		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域における保健福祉					
	目的 (どうしたいか)	民間活動の活発化を図りつつ地域の特性に応じて立案・実施された施策を資金面から援助すること及び本市の保健福祉事業の資金に充てること。					
	手段 (事業内容)	ファイン推進基金をもっとも確実かつ有利な方法により管理し運用資金を活用しつつ、上記の目的を達成するための事業に必要な経費として充てていく。 【基金活用事業:地域福祉関連団体助成事業、地域福祉推進委員関連事務事業、災害時要援護者支援ネットワーク構築事業など】					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 地域福祉関連団体助成事業 1,188千円 避難行動要支援者ネットワーク構築事業委託料674千円 日常生活自立支援事業助成金 1,107千円 ボランティアセンター活動事業補助金 385千円 地域福祉組織強化支援事業助成金 2,647千円 地域福祉推進委員会関連176千円 【特定財源】 基本繰入金6,177千円	
当初予算額	事業費	4,591	5,707	5,705		
決算額	事業費	4,144	6,177	-		
	特定財源等	4,144	6,177	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	基金運用にて行った事業件数	単位	件	
指標の説明	運用件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		5	5	5
実績		5	6	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	基金残高	単位	千円	
指標の説明	年度末基金残高(5月末現在)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		557,379	555,849	557,925
実績		559,099	561,573	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
低金利による運用益の確保に難しさを抱えているが、地域における保健福祉を積極的に推進していくためにも、適正な管理、運用に努めていく。	

今後の改善内容	(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-01-02

事務事業名		敬老祝金事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	9月1日現在、満77歳・満88歳・満100歳・満101歳以上の者					
	目的 (どうしたいか)	敬老の意を表し、長寿を祝福し、かつ、その福祉を増進するとともに、市民の敬老思想の高揚に資することを目的とする。					
	手段 (事業内容)	満77歳に1万円(カタログギフト)、満88歳に2万円(カタログギフト)、満100歳に10万円、満101歳以上に5万円をそれぞれ支給する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 ・敬老祝金 5,200千円 ・敬老祝品配送業務委託料 16,050千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	28,238	15,073	0		
決算額	事業費	22,652	21,250	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	敬老祝金支給者数	単位	人	
指標の説明	敬老祝金の全支給者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,335	2,035	0
実績		2,230	2,029	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	敬老祝金支給者数	単位	人	
指標の説明	敬老祝金の全支給者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,335	2,035	0
実績		2,230	2,029	-

≪事業の参考数値等≫

(3年度支給者数)	
77歳カタログギフト	1,347人
88歳カタログギフト	604人
100歳祝金	26人
101歳以上祝金	52人

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	C
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	見直す必要がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	C
	人件費削減の余地はあるか。	削減する必要がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	完了
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
高齢者の長寿を祝い多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝することを目的として事業を実施してきたが、高齢化の進展に伴い、これまでの一定の決まった年齢の方を対象とする個人給付事業から全体に行き渡る事業への見直しを行うため、令和4年4月1日をもって敬老祝金条例を廃止し、事業を完了した。	

今後の改善内容	
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)	
敬老祝金条例は令和4年4月1日に廃止。	

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-01-03

事務事業名		金婚祝賀事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	結婚50周年を迎えた夫婦					
	目的 (どうしたいか)	長寿及び金婚を祝福し、高齢者福祉の増進に寄与する。					
	手段 (事業内容)	敬老会との合同開催にて式典と演芸を開催。また、記念写真を贈呈する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 金婚祝賀会開催委託料 0千円 金婚祝賀会記念品代 126千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	3,897	324	429		
決算額	事業費	374	126	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	申請組数	単位	組	
指標の説明	金婚祝賀会に参加の申請があった夫婦			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		100	100	0
実績		0	43	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加組数	単位	組	
指標の説明	金婚祝賀会に参加した夫婦(令和3年度は動画配信の案内を送付した夫婦)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		100	100	0
実績		0	43	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待通りの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
令和2年度に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催中止となったこと等から、ホテル等での式典及び祝宴というこれまでの開催方法を、LICはびきのにおいて敬老会と同時開催することし、記念品贈呈をやめて記念写真のみ贈呈とする見直しを行ったが、いわゆる新型コロナの第5波により、無観客で収録を行い動画配信の実施となった。 今後も新型コロナウイルス感染症が続く中、その対応や社会情勢の変化・近隣市の状況等を参考に、事業のあり方について、引き続き検討が必要と考えられる。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
今後もコロナ禍前と同じ形での開催は困難であると考えられる。 また、記念撮影については、社会情勢の変化や近隣市の状況等を参考に、事業のあり方について引き続き検討していく。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-01-04

事務事業名		敬老会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1121	
担当部署名		福祉総務課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		款	3	民生費
	施策	3	高齢者福祉		項	1	社会福祉費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		目	3	老人福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	60歳以上の市民					
	目的 (どうしたいか)	高齢者に対し、祝福の意を表し、合わせてその長寿を祝い、敬老思想の高揚と高齢者福祉の増進に寄与する。					
	手段 (事業内容)	9月に、市内1会場において、敬老会と金婚祝賀会を合同開催、一部は式典、二部は芸能人による演芸会を実施。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 委託料 2,463千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	3,071	2,676	2,771		
決算額	事業費	0	2,463	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催個所数	単位	箇所	
指標の説明	開催した会場の数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	5	1	1	
実績	0	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加人数	単位	人	
指標の説明	各会場に参加した人数の合計(令和3年度は動画配信の案内を送付した人数)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	600	500	500	
実績	0	128	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	
		A	A

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>会場を、市内5箇所から1箇所に集約することに加えて、金婚祝賀会と敬老会の合同開催とすることで、事業費を削減しながら効果的に実施することができた。</p> <p>一方で、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、無観客で収録を行い、動画配信の実施となったため、感染対策を図りながらの安全な開催形態や、動画配信時のQRコード配布についての効果的な周知方法についての検討が課題となった。</p>	

今後の改善内容	(令和4年度以後の事業実施への改善内容) コロナ禍での安全な開催に向けて、間隔を空けた座席配置や検温・消毒、緊急連絡先の把握、健康チェックのお願い等の対策を行う必要がある。 動画配信にあたっては、配信条件等についての芸能プロダクションとの協議や、高齢者団体等を通じたQRコード配布の周知など、より効果的な実施方法を検討する必要がある。
---------	---

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-01-06

事務事業名		交流・ふれあい推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	65歳以上の市民					
	目的 (どうしたいか)	公衆浴場を市民相互のコミュニケーションの場として活用し、入浴を通じて高齢者の健康増進を図る。					
	手段 (事業内容)	対象の高齢者に市内公衆浴場(ひかり湯)で無料で入浴していただく。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 委託料 300千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	300	300	300		
決算額	事業費	300	300	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	敬老入浴事業開催回数	単位	回	
指標の説明	敬老入浴事業開催回数(年間)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		12	12	12
実績		12	12	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	延べ利用者数	単位	人	
指標の説明	敬老入浴を利用した年間延べ人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1,000	1,000	1,000
実績		888	779	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 地域の公衆浴場がコミュニケーションの場として健康増進等に貢献しており、現状を維持していくことが妥当であると思われる。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 向野共同浴場を廃止する条例が令和5年4月1日に施行されることから、本事業も令和4年度末をもって廃止する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-01-07

事務事業名		敬老記念品事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線1121	
担当部署名		福祉総務課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち		款	3	民生費
	施策	3	高齢者福祉		項	1	社会福祉費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		目	3	老人福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内に居住する高齢者					
	目的 (どうしたいか)	長寿を祝福し、併せて敬老思想の高揚及び高齢者福祉の増進に寄与する。					
	手段 (事業内容)	①男女最高齢者に記念品を贈呈②満100歳の者に花束を贈呈③敬老会を開催する市内養護老人ホーム及び特別養護老人ホームに記念品を贈呈					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 ①男女最高齢者に記念品 2名 25千円 ②満100歳の者に花束 23名 108千円 ③敬老会を開催する施設 贈呈なし 【特定財源】	
当初予算額	事業費	526	511	481		
決算額	事業費	55	152	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	延べ贈呈数	単位	数	
指標の説明	①②③の贈呈の人数及び施設数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	20	28	28	
実績	4	25	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	延べ贈呈数	単位	数	
指標の説明	①②③の贈呈の人数及び施設数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	20	28	28	
実績	4	25	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	
		B	A
		B	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与してきたことに感謝するとともに、高齢者福祉についての関心と理解を深めることを目的としており、事業の必要性は認められるが、対象範囲や内容について改善が必要と考えられる。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
男女最高齢者への記念品の贈呈を廃止する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-03-02

事務事業名		老人クラブ運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市老人クラブ連合会及び同会に加入する老人クラブ					
	目的 (どうしたいか)	運営が円滑に行われるように援助を行い、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。					
	手段 (事業内容)	場所の提供、備品の提供、他課との調整を行い、事業の援助等を行っている。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	11,028	10,273	9,986
決算額	事業費	5,936	4,872	-
	特定財源等	3,856	2,614	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】
老人クラブ連合会運営活動事業費 1,597千円
単位老人クラブ活動事業費 3,275千円
【特定財源】
国、府助成金 2,614千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業数	単位	回	
指標の説明	羽曳野市老人クラブ連合会事業の延べ回数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		20	20	20
実績		5	4	-

≪事業の参考数値等≫

単位クラブ数	109
会員数	5,277人
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業を中止した	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加者数	単位	人	
指標の説明	羽曳野市老人クラブ連合会事業の延べ参加者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,000	2,000	2,000
実績		593	207	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
老人福祉法に基づき、老人の福祉の増進を目的とする事業の振興を図るため、引き続き援助を維持していくことが必要である。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-04-01

事務事業名		埴生南老人いこいの家施設管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		内線1121	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	60歳以上の市民					
	目的 (どうしたいか)	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための場を提供し、高齢者の福祉に寄与する。					
	手段 (事業内容)	施設の維持・管理を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 光熱水費等1,313千円(シルバーワーク プラザを含む) 清掃・管理委託費1,427千円	
当初予算額	事業費	3,465	3,190	3,217		
決算額	事業費	2,630	2,740	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	延べ利用者数	単位	人	
指標の説明	施設を利用した延べ人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		3,000	3,000	3,000
実績		2,157	2,708	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	延べ利用者数	単位	人	
指標の説明	施設を利用した延べ人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		3,000	3,000	3,000
実績		2,157	2,708	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
地域の高齢者が誰でも気軽に利用できる施設として、今後も市が施設管理を行っていくことが妥当であると思われる。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き施設の維持管理を継続して行っていく。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-04-02

事務事業名		向野老人いこいの家施設管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		福祉総務課		連絡先		952-0033	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	60歳以上の市民					
	目的 (どうしたいか)	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための場を提供し、高齢者の福祉に寄与する。					
	手段 (事業内容)	施設の維持・管理を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	4,568	5,491	4,765
決算額	事業費	4,293	5,016	-
	特定財源等	0	0	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】	
光熱水費・通信費等	1,230千円
清掃・管理委託費	2,847千円
消耗品費等	146千円
空調等購入	793千円
【特定財源】	
なし	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	教室延べ受講者数	単位	人	
指標の説明	各教室(カラオケ、体操、手芸、書き方、パソコン)の延べ受講者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		2,600	2,000	2,300
実績		1,698	1,825	-

≪事業の参考数値等≫

教室延べ受講者数	1,825人
老人会での利用者数	222人
※月曜日から土曜日まで開館 (祝日は休館)	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設延べ利用者	単位	人	
指標の説明	教室受講者、老人会活動他施設延べ利用者数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		3,500	2,300	2,500
実績		1,903	2,047	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
高齢者の健康増進や生きがいづくり、また、交流の場として、今後も他部局とも調整しながら事業の継続が必要である。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き施設の維持管理を継続して行っていく。